

【4月の気象】

4月の季語は、「桜」「春眠」「長閑」「穀雨」などがあり、冬から春になり暖かく、長閑で過ごしやすい季節になります。また、様々な植物が芽吹き花開くころです。当台で観測している道後公園にある標本木の桜は3月に開花（平年3月24日）し4月に満開（平年4月3日）となります。ただし、ここ3年は3月に満開を迎えています。

さくらの開花日、満開日

	開花日	満開日
2023年	3月18日	3月28日
2022年	3月21日	3月28日
2021年	3月15日	3月27日
2020年	3月25日	4月9日
2019年	3月22日	4月5日
平年	3月24日	4月3日

松山市の4月の平均気温の平年値（1991～2020年）は「14.8℃」ですが、上旬から下旬にかけて3.2℃上昇し、寒暖差が大きくなります。

低気圧が3～4日の周期で西日本を通過するようになります。低気圧が日本海を発達しながら東へ進む場合、南よりの強風が吹きやすく、低気圧からのびる寒冷前線が通過する時には、突風、竜巻、激しい雨、ひょうなど激しい現象が起きることがあります。また、移動性高気圧に覆われて晴れた朝は、放射冷却現象によって気温が低下し霜が降りることがあり、農作物の管理に注意が必要です。

【気象用語】「農業気象ポータルサイト」について

気象庁ホームページには、農業分野に役立つ情報をまとめて、農業気象ポータルサイトを作成しています。農業気象ポータルサイトでは、営農活動に役立つ気象情報、屋外活動において身を守る知識や気象情報、農業に役立つ気象情報の利用の手引き等を掲載しています。

営農活動に役立つ気象情報では気温、日照、降雨等の実況や今後の予測がまとめられています。屋外活動において身を守るための知識や気象情報では、急な大雨や雷・竜巻から身を守るための情報や熱中症から身を守るための気象情報がまとめられています。農業に役立つ気象情報の利用の手引きでは、農業気象災害の防止・軽減や農業生産性の向上に役立つ気象情報の利用についてポイントをもとめた手引きになっています。そのほか、気象情報の活用方法として、農業だけでなく、スーパー、コンビニ、アパレル等の他の業種も含めて、活用例が記載されています。

農業気象ポータルサイトには農業に役立つ資料や気象データの利用方法を解説しています。お時間のある時に見ていただければ、みなさまの業務に役立つことが見つかるかもしれません。ご興味のあることがありましたら、気象台にお知らせいただければ、お手伝いできることがあるかもしれません。お気軽にお問い合わせください。

農業気象ポータルサイト

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/nougyou.html>

農業気象ポータルサイト（気象庁ホームページ）